



桜の花も散って、次はゴールデンウィークを楽しみに頑張りましょう。

このニュースレターは、私と名刺交換して頂いた方、当社とお取引のあるお客様へお送りしています。頑張って発行して行きますので、応援をお願い致します。(不要な方はご連絡をお願い致します)

中小企業&個人向パソコン活用法(その4)

パソコンの寿命って何年くらい?



「な〜んかパソコンの調子が悪いなあ」と思っていた矢先。大切なデータとともに、愛機がお亡くなりになってしまった経験ってございませんか。賢明な方なら、こまめにバックアップをとっているのですが、自分のようにズボラな性格をしておりますと、急にパソコンがクラッシュして取り返しのつかない状況におちいつたりします。プライベートなデータならいざ知らず、仕事関係の重要データなんて入ってたりすると、目の前が真っ暗になります。こんな嫌な経験からデータを自動バックアップするようになりました。

さて、そんな愚行を重ねておられますと、フと疑問に思うことはありませんか? どこかで「パソコンの寿命は5年説」というのを聞いたことがあります。私の経験から言っても妥当な説だと思えます。

「パソコンの部品のなかで、もっとも故障しやすいパーツはハードディスクといわれています。一般的に、一日8時間稼働して5年程度、連続稼働の場合は長くても2年から3年程度がハードディスクの寿命といわれているようです。もちろん使用頻度や環境にもよりますが、同じパソコンを5年以上使い続けると、自分のデータをすべて失くしてしまう可能性が高くなるといえるでしょう」

う〜む。やはり5年も使ったら、そろそろパソコンも買い換え時ということか…。

「まあ、パソコンはこれだけ使ったから買い替えなさいというルールなんてありません。ただ、一般的にビジネスアプリケーションやネット、メールといった用途ならば4~5年、ゲームやDTP、CADなど最新技術や高い処理能力を必要とする作業が主な用途の場合は、3~4年程度が買い替えの目安といえるでしょう」

税法上では、パソコンの減価償却期間は4年となっており、長期保証も通常は5年まで。もちろん、なかなか壊れないダイ・ハードなマシンもあるけれど、時代遅れの性能になることは必定。OSの改変周期からみても、パソコンの寿命はだいたい5年、とみていいでしょうね。もちろん5年もたないケースもありえます。

そろそろマイマシンも4年経ちますが、不吉な音が発生してきました。さらにハードディスクは熱に弱い! パソコンも夏バテするんです。大事なのは、クラッシュする前にバックアップをとったり、リカバリのやり方を覚えることです。

仕事で使うパソコンの場合、正常に動いている時に買い替えをするのが一番安全って事です。



セキュリティ対策 (ID・パスワード生成時の注意点)

不正アクセスの現状

4桁のパスワードは3秒で破られます。

4桁の英字であれば「a」から「zzzz」までをしらみつぶしにプログラムで生成してぶつければいいので、現在のコンピュータでは3秒ほどで破ってしまいます。このため多くのサイトがパスワード設定時に「英数字をランダムに組み合わせ8桁以上にしましょう」と注意をしています。8桁以上の英数字の組み合わせは破るのに何年もかかります。

特定されにくいID・パスワードを設定する

1. ユーザー本人の名前、住所、誕生日等から推測できないものを設定する
2. 辞書にある英単語など簡単なパスワードを設定しない
3. 英字と数字を混在させる
4. 短すぎず、適切な長さの文字数にする
5. 定期的に、以前使っていたパスワードとは異なるものに変更する

漏洩を防ぐ

1. パスワードを秘密にしておき他人とは共用しない
2. メモやコンピュータ上のファイルなど媒体に記録しない
3. パスワードをメール等で他人とやりとりしない

プリンターの裏紙使用 トクなのか損なのか!?

プリンターの裏紙の使用は故障の原因? IT化して大量の情報を扱うようになり、かえって使用する紙の量が増えたりします。このため、節減対策としてプリンターに裏紙を使用するところも多いですね。ところが紙詰まりや故障が頻発するケースも出ている。裏紙は使うべきなのか!?

賛成派は、環境への配慮やコストの削減につながるという点を挙げる。一方、反対は、裏紙の使用がプリンターの故障につながるという理由からだ。

私が以前勤めていた会社では、レーザープリンターへの裏紙使用は禁止されていました。理由は「裏紙を使うとプリンタードラム(当時3万円)が傷む為、交換時期が早くなり、結果的にランニングコストが高くなる」との事でした。

製品の説明書やホームページの商品説明欄で、裏紙の使用は紙詰まりの原因になると明記しているところもあります。インクジェットプリンターよりレーザープリンターの方が、裏紙は使わない方が良さそうですね。

～ 「福岡は美人が多い」のは、何故か? ～

少し前にネットニュースで見つけた面白い記事を紹介します。この記事を読んで「福岡は美人が多い」と納得しました。

福岡に暮らしてかれこれ20年になる。全国各地から、たくさんの来客が訪れる度に言われることがある。ひとつは「食べ物安くて美味しい」。ふたつめは『女の子がキレイ・カワイイ』である。何故か? それを実証するようなデータが発表された。

1、福岡市には、美容系サロンがめっちゃ多い。

人口10万人あたりの美容室の数が・・・横浜市→164.4店舗 神戸市→205.5店舗 福岡市→269.6店舗
人口10万人あたりのエステサロンの数が・・・横浜市→33.3店舗 神戸市→46.7店舗 福岡市→68.9店舗

比較したら、福岡市が他都市をすべて上回っている。美容室は横浜の1.6倍。エステティックサロンにおいては2倍以上だ。

2、福岡市の女性は、「美」にお金をかけている。

家計調査年報から、1世帯あたりの年間品目別総世帯支出額を比較した額では・・・

コスメにかかる費用が、横浜市→28,632円 神戸市→22,617円 福岡市→31,119円
女性服にかかる費用が、横浜市→56,798円 神戸市→46,374円 福岡市→67,184円

神戸や横浜などに比べて、家賃や交通費等の生活コストがかからない。自宅から職場へ通っている女性や学生が多い。その分、「美」にまわす「お金」があるというわけだ。自分の「美」に、手間暇をかけるだけの「時間」と「お金」が約束されているのが福岡なのだ。

3、起業しやすい都市サイズである。

福岡は、サロンも全国平均から見ても突出して多い。さらに、美容系の商材を扱った通販会社も、乱立している。それら、みんなオーナーが若いというのも特徴的だ。要は、「女性をキレイにしたい」と思ったら、すぐに店を出す、起業するという風土がある。また、良いサイズにまとまっているので、横のつながりが深く、ノウハウをクローズすることがない。誰かが起業するとなったら、誰かが繋がってお手伝いしてあげるところがある。

～ 編集後記 ～

3月末に車のオイル交換でディーラーへ行きました。暇つぶししていたところ、ETCの資料を発見! 4月一杯(140万台まで)は国の補助(5250円)を思い出し、サービスマンの方に説明をお願いしました。最初に言われたのが「ETCの在庫はありません」(やはり遅すぎたか)4月中に取付できる保障もありませんが予約しますか?との事だったが予約してきました。全国で予約が毎日2万件増えているとネットニュースに載っていました。(す、凄い数!)5月の連休に間に合えば良いのですか・・・何事も先手必勝ですね。

記 奥村芳崇